

委員会 レポート

委員会活動として、閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、各常任委員会は第9回定例会において、次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会

委員長 橋本晃明

- 調査事項
- ① 寄付による投票条例について
- ② 財政健全化の取り組みについて

■調査先
沼田町・三笠市

- 調査の結果
- ① 寄付による投票条例について



沼田町の職員から寄付による投票条例の説明を受けた

政策メニューを提示し、全国から寄付を募り事業を実施する仕組みで、独自の地域素材を残していくため、沼田町は平成17年に条例を制定した。寄付のメニューは、ほ

たるの里維持保存事業、夜高あんどん祭り維持保存事業等の5事業で、目標額は設定されていないが、平成19年度途中までの寄付総額は1100万円を超えている。課題は集まった寄付をどのように使うかで、寄付者の思いに添える使い方を慎重に検討している。

② 財政健全化の取り組みについて
三笠市は、平成3年4月から財政健全化の取り組みを始め、現在、平成18年度から5か年の計画を進めている。

平成20年度からの電算アウトソーシングで、専任職員の減等により816万円の効果を見込んでいる。公共施設は、法的に不可能なもの以外は指定管理者制

■調査事項
財政健全化の取り組みについて

■調査の結果
新たな政策課題や大きな環境変化に対応できる財政基盤を確立するため、第二次緊急3か年計画(平成20～22年度)が策定された。

基金繰入れを極力抑える計画となっているが、依然として当該年度の歳入を歳入で賄うことはできない見通しである。

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会

合同調査

■調査事項
都市施設課職員から



都市施設課職員から
営農用水施設等の説明を受けた

産業厚生常任委員会

委員長 森田慎治

- 調査事項
- ① 後期高齢者医療制度について
- ② 主要建設工事の進捗状況について

■調査の結果
① 後期高齢者医療制度について
平成20年4月から始まり、75歳以上の高齢者が安心して医療を受けられ

るようにするため、世代間の負担を明確にし、都道府県単位の広域連合が運営を担う独立した医療制度である。北海道では、全180市町村で構成する広域連合が平成19年3月に設立され、保険料の決定や医療の給付等が行われるが、各種届出の受付や被保険者証

の引渡しは、市町村が行うことになっている。

② 主要建設工事の進捗状況について
御影大平道路現道拡幅工事は、昨年度の継続事業で、道路延長96・24メートル、幅員6・0メートルの単独事業として順調に工事が進められ、完了直前の状況で簡易舗装工事も発注されている。

道営畑地帯総合整備事業下美蔓地区は、営農用水施設を整備するもので、受益農家21戸、総事業費6億6100万円、町負担額1億8177万5000円の見込みで、平成20年度給水開始、平成21年度完了予定である。